

石川県白山市から岐阜県白川村へと続く全長33・3kmの「白山白川郷ホワイトロード」は、標高差を活かした見事な紅葉のグラデーションが魅力です。9月下旬から三方岩岳の山頂付近が色づき始め、10月中旬には山腹や谷間まで紅葉が広がり、11月上旬までの美しさを堪能できます。岐

メニュー
その1

雲海×紅葉の 絶景を楽しむ

ちょっとした、得する！耳寄り情報

てんこもり

発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

Vol. 77



朝夕は急に冷えこんできましたね。秋の夜長、お酒に読書にお喋りに…皆さんはどんな風に過ごされていますか。



26日（土）から10月18日（日）の期間は「秋のモーニングタイム」が実施され、岐阜県側

岐阜県と石川県の県境にある三方岩岳は、三方岩駐車場から50分程登ったところにある標高1736mの山で、日本三百名山にも選ばれています。白山や北アルプスなど360度に広がる大パノラマのほか、紅葉に包まれたホワイトロードを見下すトレッキングが楽しめます。また、昼夜の寒暖差が大きくなるこの時期の翌朝には、岐阜県側の白川郷展望台から一面に広がる雲海に出会えることがあります（気象条件により異なります）。この雲海に出会うチャンスを増やすため、9月

メニュー
その2

てんこむきの種

今回はカビの話題です。8月28日の岐阜新聞に「昆虫死骸に生えるカビ発見」「恵那市の沢、県内で初」という記事がありました。カビを発見した美濃加茂の沢尾さん（以後、Sさん）は会社の同僚です。私も新聞記事を読んで驚き、そして「スゲエ！」と興奮しました。Sさんは珪化木を探しに恵那市の沢を訪れた際、線香花火のように繊細で美しい白い物体に出会いました。そのときは正体が分か

は通常より1時間早い午前7時から入場することができま

す（石川県側は通常営業）。ぜひ、朝の澄んだ空気に、朝日、紅葉、そして雲海が織りなす絶景をお楽しみください。一方、石川県側には、日本一の滝百選に選ばれた「姥ヶ滝」や「ふくべの大滝」などの名所も点在しています。特にふくべの大滝は、断崖を流れ落ちるダイナミックな水しぶきが道路までかかることもある、沿道随一の迫力スポッ

トです。秋のドライブや絶景を存分にコンプリートしに、ぜひ白山白川郷ホワイトロードへお出かけください。

通行料金 軽自動車1400円 普通車1700円 マイクロバス5000円 大型バス11000円 営業時間 午前8時～午後5時 ただし、9月26日（土）～10月18日（日）の期間、岐阜県側のみ午前7時～午後5時 by島崎 公式ホームページ <https://As-whiteroad.jp/>

らず、SNSに「これ何？」と写真を投稿したところ、思わぬ反響があり「幻のカビでは」との情報が寄せられました。Sさんは、筑波大学山岳科学センターの出川准教授にメールで問合せします。すると先生から「スポロディニエラ・ウンベラータで間違いありません」とお墨付きをいただきます。1996年に茨城県で発見されて以来、全国で数十例しか確認されていない希少な菌類だと判明し



ました。Sさんは後日、再調査に行きます。そしてカビの宿主がエゾゼミであることも特定しました。

私は、決まった物を宿主に選ぶカビの不思議な生態に、強く心を惹かれます。私は勢いに任せ、メルカリで出川先生の図鑑を手に入れ、Sさんの発見がイグチ科のキノコに生えるフタマタケカビの近縁種であることを知りました。普段は気に留めないカビですが、ひとつひとつに学名がある立派な生物です。SNSがきっかけで起きた今回の奇跡は、自然観察の楽しさと一歩外へ踏み出す大切さを教えてくれます。皆さんも身近な足元にある未知の世界に、目を向けてみませんか？手作りパンであれば、最短2～3日でカビが生え始めますよ。なんちゃって。 by FAT かつう



ニコー
メソの3

美味しいお店 のご紹介

今回は、恵那市から豊田市に向かう国道257号沿い、上矢作町にある『たまごや喫茶店 らんらん』を紹介しましょう。養鶏場を営むオーナーがはじめた喫茶店で、新鮮でおいしいたまごが味わえるとなつて、モーニングやランチの時間帯には地元の人たちで賑わう人気店です。私は、今回、人気のオムライスの中から「ハヤシ（チキンピラフ+ハヤシビーフソース）」をいただきます。とろりとやわらかい卵に、チキンピラフとコクのあるハヤシビーフソースが絶妙に絡み合い、思わずクセになるおいしさでした。オムライスだけでも6種類とバリエーションが豊富で、「全種類を食べ比べてみたい！」「と思わせる魅力があります。また、同じく人気のオムそばや焼きそばも麺がリニューアルさ



れ、ますます美味しくなっているとのこと。「次回はオムそばに挑戦しよう」と、今から楽しみにしています。メニューは自慢の卵料理が中心で、ランチからデザート、大人から子供まで大満足できるラインナップです。お近くにお越しの際は、ぜひ『たまごや喫茶店 らんらん』立寄ってみてはいかがでしょうか。 b y 島崎

ニコー
メソの4

ぶらり道の駅を訪ねて

「美濃焼」の魅力がたくさん詰まった道の駅！今回は、土岐市の県道66号沿いの高台にある「道の駅土岐美濃焼街道 どんぶり会館」をご紹介します。ユニークな「どんぶり」をひっくり返したような外観はとてつもない特徴的で、県道を走っていると、目を見も引きます。晴れた日には、



屋上の展望台から御岳山や中央アルプスまで見渡すことができます。館内は充実したラインナップが魅力です。1階には、土岐市内の窯元が手がけた美濃焼を産地価格で購入できる直売所のほか、全国の「道の駅」産品交流コーナー、土岐市の朝採れ野菜が並ぶ農産物直売所があります。2階のフードコートでは、お得な日替わりランチや、味ご飯が堪能できる「窯暮れ定食」、館内の工房で焼き上げた手作りパン、濃厚な「どんぶりソフト」など、地元の食を存分に楽しめます。ちなみに、名物のどんぶりソフトは、食べ終わった器を持ち帰ることができるのも嬉しいポイントです。また、地下では完全予約制の陶芸体験教室が開催されており、土に触れながら、やきものが持つあたたかさやぬくもりを体験して、暮らしに彩りを



ニコー
メソの5

技術講演会 報告

添えてみるのもおすすめです。私も、毎日自分で作ったお気に入りのカップでコーヒーを楽しんでいます。心地よい秋の一日を、「どんぶり会館」で過ごしてみたいかがでしょうか。 b y 島崎

9月4日、一般社団法人岐阜県構造物強靱化技術協会の主催による技術講演会が「ホテルグランベール岐山カルチャーホール」で開催され、102名が参加しました。基調講演では、一般財団法人橋梁調査会 専務理事の木村嘉富氏が「道路橋の維持管理における新技術の活用」国の研究所での経験より」と題して登壇。ご自身の豊富なご経験をもちに、以下の3つのテーマを中心に講演が行われました。

①耐震設計基準の歩みとして、関東大震災から阪神・淡路大震災、熊本地震、能登半島地震に至る過去の震災の教訓と、それに伴う道路橋の耐震設計基準高度化の歴史的背景について説明がありました。

②インフラマネジメンツの未来として、インフラの老朽化問題に対し、法定点検の変遷や実際の損傷事例から学ぶ今後のあり方について説明がありました。

③新技術の社会実装と人材活用について、深刻化する担い手不足問題を新技術で解決する事例の説明がありました。続く施工事例報告では、アキレス(株)より「トンネル裏込補修用ウレタン注入工法」についての発表があり、映像資料を交えた具体的な解説が行われました。さらに、同協会員より「落石対策の岩接着DKボンド工法」および「落石発生源PUR工法」が紹介され、最新の保全技術への理解を深める機会となりました。同協会では今後も、地域の安全・安心な暮らしに貢献するため、このような講演会を企画していくと機会がございましたら、ぜひご参加ください。

b y 小栗

